

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	消化器疾患患者に対する嚥下障害の発生要因及び経口摂取退院との関連についての検討
研究責任者 (共同研究者)	小林莉歩 小田桐佑香
研究目的と意義	当院では、消化器内科病棟に言語聴覚士を2名配置し、消化器疾患で入院した患者に対して、言語聴覚士が嚥下機能の評価を行い、評価結果に応じた嚥下リハビリテーションを実施しております。消化器疾患患者では、消化器官の通過障害など癌に対する放射線治療・手術の影響により嚥下機能が低下することが報告されていますが、当院においても消化器疾患で入院後に嚥下障害を発症する事例は少なくありません。本研究の目的は、消化器疾患患者に対する嚥下障害の発生要因を明らかにすることと、経口摂取退院との関連について分析・検討することです。
調査対象となる方 (該当期間)	2023年11月1日から2025年3月31日までの期間に、当院消化器内科病棟に消化器疾患で入院し、言語聴覚士による嚥下評価・訓練を実施した症例。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 (性別、年齢、原因疾患、入院期間、発症からST開始までの日数、脳血管疾患の既往の有無、肺炎の合併の有無、入院時Alb値、入院時BMI、病前・入院時・退院時の摂食嚥下能力、藤島式摂食嚥下グレード、欠食期間、入院時の機能的自立度評価、入院から離床までの日数、退院先など)
研究期間	倫理委員会承認日(2025年8月8日)より2年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報(イニシャル、生年月日、当院IDなど)は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：小林莉歩 電話番号：0172-55-7717
備考	特記なし